



▲表彰状を受け取る朝倉市在住の前田さん夫婦

## 苦楽を共にして半世紀

西日本新聞 金婚夫婦表彰式

10月18日、ピーポート甘木で金婚夫婦表彰式（西日本新聞社主催）が開催され、朝倉市などに住んでいる今年結婚50年を迎える夫婦82組が表彰を受けました。

出席した夫婦が結婚したのは、アイビーリックが流行した1965（昭和40）年。

会場では当時の映像が流され、参加者たちは懐かしそうにスクリーンに目を向けながら、苦楽を共にしてきた時の長さに思いを馳せていました。

人権の花運動は、市内の小学校の児童たちに人権の花「ひまわり」を育てる通じて人権について考えてもらう運動で、今年度は立石小学校、福田小学校、久喜宮小学校で実施しました。児童たちは「ひまわりが育つて花を咲かせることができて嬉しかったです。これからも人を大切にしていきたいです。」と話しました。

## 育てよう一人一人の人権意識

立石小学校 人権の花 閉会式

10月1日、立石小学校で人権の花閉会式が行われました。



▲人権まもる君、あゆみちゃんと友達になりました

10月17日～18日に、第20回ハーブフェスティバル原鶴が開催され期間中たくさん的人が訪れました。  
2日間とも天候に恵まれ、ハーブを使った体验コーナーや、ハーブを使った雑貨や花苗の販売など、様々な催しがありました。  
女将さんらで構成される「湯里あこし会」の皆さんを中心に行なわれたハーブ公園では、香りとその姿をバックに写真撮影を楽しむ親子連れの姿が多く見られました。



▲気持ちの良い秋晴れで、爽やかな青空が広がっていました

## ハーブと温泉でおもてなし

第20回ハーブフェスティバル原鶴



▲入口前で行われたパンフレット配布のようす

## バスに乗ろう！

朝倉市バス利用促進キャンペーン

10月3日、イオン甘木店東側駐車場（特設会場）で、「バスに乗ろう！」朝倉市バスキャンペーンが行われました。

当日は、買い物に訪れたお客さんたちにバスの運転手さんが、バスのペーパークラフトなどが入ったパンフレットを配布しました。

特設会場では、実際にバスに乗って市内を回る乗車体験や3台のバスの展示が行われ、多くの親子連れで賑わいました。

甘木歴史資料館は、1985（昭和60）年に開館して以来、豊かな自然に恵まれた朝倉地域に存在する多くの考古資料や歴史・民俗資料の収集、保管、展示を行い、地域文化の振興に貢献しています。  
30万人目の入館者となつた長瀬さん夫妻には、安部館長から記念品と朝倉市ふるさとパックが手渡されました。

## 入館者30万人達成！

甘木歴史資料館

10月8日、甘木歴史資料館が入館者数30万人を迎えるました。



▲館長から記念品を受け取る筑紫野市在住の長瀬さん夫妻（右）